

つきたい力

- ・課題に主体的に取り組む力
- ・目的に応じた書く力、まとめる力
- ・読書習慣

取組みの概要・ポイント

- ・教職員みんなで共有しながら授業改善に取り組み、同僚性を高める。
- ・系統性と教科間の関連を意識し、児童が主体的に取り組めるような授業づくりを行う。
- ・本に親しむ機会を計画的に設け、児童の読書習慣の定着をはかる。

具体的な取組みの内容

言語能力をはぐくむ授業づくりに向けての研究体制

本校の子どもたちにとっての必要な言語能力

すべての学びと生活を支えるものであり、あらゆる生活場面や国語科以外のすべての教科でも学びを深め、人生を豊かにするための「土台となる力」

令和7年度の研究テーマ

自ら考え表現できる児童の育成
 ～言語活動を通して～
 子どもが書きたくなる活動を目指して

★校内研修について

- 柳田典子先生（全国SLA学校図書館スーパーバイザー）による校内研修、オンライン研修。
- ワールドカフェ方式で全学年の学習指導案を全教員で検討。
- 全職員で共通理解をしながら、ベクトルを揃えて！

★大阪府情報活用能力ステップシートを活用した授業づくり ～「学びスキル」から～

- 子どもたちが「伝えたい」というゴールを設定し、子どもが「書きたくなる」という活動を取り入れる。
- ・1年生 国語「ことばあそびうたをつくろう」
- ・2年生 国語「どうぶつカードをつくる」
- ・4年生 国語「聞いてほしいな こんな出来事」

クラゲチャートを活用し、思考を広げていく

まずは教職員の意識の変容から

校内研修



情報収集



学校図書館を充実および読書活動の推進

★全学年で、図書の時間に「書く」言語活動

- 「読書の〇〇（読書の木・読書の海・読書の星）」
- 「自分の気持ちにぴったりの言葉で万博をふり返ろう」
- 読書を通して「思わず伝えたい話（豆知識）」

図書の時間での「書く」言語活動

★読書週間（学期に1回）

- 異学年読書交流「八木小版ビブリオバトル」
 ・ペア学年で小グループを作って、交流。
- 児童図書委員による大型絵本の読み聞かせ
- 朝の読書タイム
- 教員による読み聞かせ
 ・違う学年・クラスの児童に読み聞かせを行う。

万博の感想を書いたカードを張り合わせて掲示



本を読んで、思わず伝えたいようなこと！

★「読書センター」「学習センター」「情報センター」としての環境づくり

- 学校司書の勤務時間内に全クラス図書の時間を割り当て
- 学校図書館授業活用計画の作成
- 味見読書
- 学校図書館での調べ学習
- 給食準備中の学習タイム「おひるがく」

今日のチャン本は？



豆知識



異学年読書交流「八木小版ビブリオバトル」

取組みを通しての子どもの変容

- ・言語能力をはぐくむ活動に主体的に取り組むことができた。
- ・子どもの貸し出し平均冊数（特に高学年）が増加し、本を読む機会が増えた。

アンケート項目	R7.3	R7.7
授業では、学習課題の解決や目標の達成にむけて、自らすすんで考え、取り組んでいる。	74%	87%
自分の考えを伝えるとき、相手や目的などを意識して、伝え方を工夫している。	82%	91%

詳しくは学校HPをご覧ください。

